

# 季刊 青春本棚通信

## LINEUP

## vol. 21

夏の「ビブリオバトル@テーブル2021」を開催しました！

第8回松山市立中央図書館ビブリオバトル

インターンシップ実習生さんがやってきた

青春☆POP便（インターンシップ実習生さん編）/POPを作ってみませんか～POP作成のススメ

松山市立北中学校さんのPOPが、図書館にやってきた！

青春ひとことLINE ～ 図書館の人にきいてみた～  
本好きのコーヒブレイク 11月1日は古典の日

図書館ダンジョン・エクスプローラー 図書館投稿のススメ

2021

# 秋

夏の「ビブリオバトル@テーブル2021」を開催しました！

紹介本

氏名

学校・学年

『誘拐ラブソニー』（萩原 浩//著・双葉社）

原田 陽さん

拓南中学校3年

『「悩み部」の焦燥とその暗躍』（麻希 一樹//著・学研プラス）

山岡 真士さん

愛媛大学教育学部付属  
中学校1年

『氷菓』（米澤 穂信//著・角川書店）

高石 大翔さん

拓南中学校3年

何と参加者全員が、ビブリオバトル初参加！でも皆さん堂々と発表しててスゴイ！

今回のチャンプ本



夏真っ只中の8月19日(木) 午後2時から、「ビブリオバトル@テーブル2021」を、二年ぶりに、無事、開催することができました。参加していただいた皆様、本当にありがとうございます。会は、終始、和やかな雰囲気で行進。こういう@ホームな感じのビブリオバトルもいいですね♪「@テーブル」は、毎年夏の予定ですので、来年以降も、よろしければ、ぜひ参加してみてください！ ※今回の「@テーブル」は、マスクの着用・検温等、感染対策の徹底に努めました。

# 第8回松山市立中央図書館ビブリオバトル開催！

## バトラー 発表参加者さん、大募集！！

毎年恒例の『松山市立中央図書館ビブリオバトル』を11月7日(日曜日)に開催します。  
発表参加者は、中学生と高校生から募集します。観客の前で発表し、観客を含めた参加者全員の投票によってチャンプ本を決める、本格的なビブリオバトルです。

初めての人でも大丈夫！大好きな本への想い、この機会に熱く語ってみませんか？  
ぜひお申込みください！

日時：11月7日(日)午後1時～(予定)

場所：松山市湊町7丁目5 松山市総合コミュニティセンター1階展示室

対象：松山市内在住または在学の中学生・高校生

定員：中学生の部・高校生の部 各部6名程度(応募多数の場合は抽選)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては中止になる場合があります。

### 【ビブリオバトルのお申込・問合わせ先】

中央図書館事務所 担当：小池、河村(※Eメールは件名に「ビブリオバトル」を入れてね)

電話：943-8008 F A X：933-9968 Eメール：tosyokan@city.matsuyama.ehime.jp

## ビブリオバトルをやってみよう！



ビブリオバトルは友だち同士で気軽に楽しめる『本の紹介コミュニケーション』ゲームなのじゃ！ルールは下のとおりカンタン！  
ゲームの勝ち負けの楽しさだけでなく、5分で本を紹介するプレゼン能力も上がるし、友だちの好みを知ったり、新しい本との出会いもあるソイ！

### ビブリオバトル公式ルール

#### 1. ひとり1冊ずつオススメ本を持って集合！

本のテーマは原則自由。ただし「食べものの本」など各バトルで設定してもOK。同じく本の種類も制限可。(コミックや雑誌などはNG)大事なことは、必ず自分が読んで選ぶこと！

#### 2. 開戦！順番に制限時間5分でオススメ本を紹介します。

バトラーの持ち時間は厳守！5分を過ぎたら発表終了だよ。資料は用意せず、バトラーも本だけ持っていざ勝負！原稿を読むより自分の言葉で生き活きと語れば皆の心に響くよ(台本はナシです)。バトラーのほかに発表を聞いて投票する観覧者がいても盛り上がるよ！

#### 3. それぞれの発表の後に、制限時間2分でディスカッション(質疑応答)します。

バトラーの揚げ足をとったり批判はしないで。分からなかったり気になったことを全員で聞いてみよう。

#### 4. すべての発表が終わった後、全員で「どの本が一番読みたくなったか？」の投票をし、最も多く票を集めた本が「チャンプ本」の栄誉を勝ち取ります！

全員で1人1票。バトラーも投票できるよ。でも自分の作品には投票しないこと！



# 図書館のビブリアバトルをのぞいてみよう!

発表参加者募集というけれど、ビブリアバトルの様子ってどんな様子なんだろう?と思われた方も多いと思うので、昨年の様子をお伝えしますね。会場は、コミセン1階の展示室。正面玄関を入ってすぐ右側の部屋です。下の写真が、そのビブリアバトルの会場の様子です。写真中央が発表者(バトラー)席、右側のスクリーンにビブリアバトルタイマーが写し出されています。これで持ち時間5分のカウントダウンをします。時間になったら、ベルがなって終了!すぐに、観客の皆さんとのディスカッションタイム(2分)に入ります。



**【発表者(バトラー)席】**ここで自分の推し本の紹介をします。

**【ビブリアバトルタイマー】**どんどん時間が過ぎていくので、時間内に終わるのかドキドキです。

**【観客席】**発表者のおすすめを何を質問しようかなと考えたりしつつ聞いています。

**【ホワイトボード】**発表者名と書名が掲示されます。



**【バトラーの様子1】**時には身振りを交えて。



**【バトラーの様子2】**マイクもあるので安心してね。



**【表彰式】**チャンプには館長から表彰状を授与!

全員の発表&ディスカッションが終わったら、いよいよ投票タイム!発表者も投票できます。集計している間に、司会者から発表者へ質問があることも。チャンプ本が決まったら、表彰式です。

ちなみに、チャンプには特典(副賞)として、「**あなたが図書館に置いてほしい本(最大で20冊)**」があるので、お楽しみに!



# ビブリオバトルチャンプ本の歴史

平成26年度から始まった松山市立中央図書館のビブリオバトル。今までに、どんな本がチャンプになったのか、第1回から第7回までをご紹介します！

平成26年度 第1回 高校生の部(第1組)『チョコレートコスモス』(恩田 陸//著・角川書店 他)  
 高校生の部(第2組)『侏儒の言葉』(芥川 竜之介//著・新潮社 他)  
 中学生の部『93番目のキミ』(山田 悠介//著・文藝社)

平成27年度 第2回 高校生の部『神様の御用人』(浅葉 なつ//著・KADOKAWA)  
 中学生の部『アイスプラネット』(椎名 誠//著・講談社)

平成28年度 第3回 高校生の部『ゼツメツ少年』(重松 清//著・新潮社)  
 中学生の部『シンドラーに救われた少年』(レオン・レイソン//著・河出書房新社)

平成29年度 第4回 高校生の部『アイネクライネナハトムジーク』(伊坂 幸太郎//著・幻冬舎)

平成30年度 第5回 第1組『ヨーロッパ退屈日記』(伊丹 十三//著・新潮社 他)  
 第2組『いなくなれ、群青』(河野 裕//著・新潮社)

令和元年度 第6回 中学生の部『妻を殺してもバレない確率』(桜川 ヒロ//著・宝島社)  
 高校生の部『新訳 走れメロス』(森見 登美彦//著・祥伝社)

令和2年度 第7回 中学生の部『焼きそば うえた』(さくら ももこ//著・小学館)  
 高校生の部『十二国記』(小野 不由美//著・新潮社 他)



## さて、今年はどうな本がチャンプになるのか？

松山市立図書館が、「ビブリオバトルオブザイヤー2020」特別賞を受賞しました！



ビブリオバトルを含め、ヤングアダルト世代（中学生・高校生）が本に接する機会を増やし読書活動を進める実績が評価され、昨年、**ビブリオバトル普及委員会**が実施する「ビブリオバトルオブザイヤー2020」で**特別賞「坊っちゃんも応援しているで賞」**を受賞しました。四国の公共図書館では初の受賞です！これからも頑張りますので、よろしく願いいたします！



# インターンシップ実習生さんがやってきた

「インターンシップ」とは、学生の皆さんに、実際の業務を体験してもらい、職業意識を高めてもらう制度のことで、松山市でも、毎年たくさんの方を受け入れています。

図書館にも、令和3年8月16日～20日までの日程で、インターンシップ実習生(大学生)の方が二人来られ、書架整理や修理、雑誌の受け入れ作業、レファレンス実習など盛りだくさんの図書館業務をこなしてもらいました。青春本棚通信では、そんな二人(中川さん、宇都宮さん)に取材を敢行！いろいろおはなしを伺ってみました！

Q1. どうしてインターンシップに**応募**したのですか？

**中川さん**: もともと公務員になんとかになりたいと思っていたこと、図書館にいるのが子どもの頃から好きで、松山市役所のインターンシップ応募先に、松山市立中央図書館があったことが重なって応募しました。

**宇都宮さん**: 市役所職員として働くことに興味を持っていたため、インターンシップ先を松山市役所に応募しました。また、私は大学で英米文学を専攻しているので、本にも関心があり、市役所の中でも中央図書館を選びました。



Q3. 二人の専攻している学部に関する**おすすめ本**や**勉強法**はありますか？

**中川さん(人文社会学科)**: 本ではないですが、**新聞**を読むことをおすすめします。まずは、気になる見出しを読むだけで構いません。**図書館には地方紙以外の新聞もあるので、ぜひ読み比べてみてください。**それから、**新書**を読むのもおすすめで、中高生でも読みやすい本がたくさんあります。好きな分野だけでも良いので1冊も読んだことない人はチャレンジしてみてください。

**宇都宮さん(人文学部英語英米学科)**: たくさん本を読むこと！英語が苦手な人や、あまり普段、英語の本を読まない人は、**スヌーピー**のような**読みやすい・短い英会話本**のようなものがオススメです。



Q2. 短期間でしたが、**図書館の仕事**をしてみようでしたか？

**中川さん**: 利用者側でいた時は、貸出や返却処理、本を整理している場面しか見ていなかったのですが、普段はお目にかかることができない裏方の仕事をしてみても充実したし、楽しかったです。特に書庫は普段は立ち入れないので貴重な体験でした。

**宇都宮さん**: 図書館での仕事は、普段、目にする本の貸出だけでなく、レファレンスという調べ業務や書架の整理、雑誌受け入れ作業、移動図書館の運行、総務事務など様々な業務があり、それを体験することができ、とても充実した研修になりました。



Q4. 中学生、高校生の皆さんに**ひとつこと**！

**中川さん**: よく言われますが、本を読むだけで自分が驚くほど世界は広がります。私は、中高生の時に、年間100冊以上本を読んで、直接テストや受験に役立った訳ではありませんが、人生が豊かになったなと思いました。漫画やライトノベルなど**自分が読みやすいもの**で良いので、活字に沢山触れてください。

**宇都宮さん**: 面白い本、感動する本、オススメされた本、どんな本であっても私は**もっと本を読んでおいたらよかった**なと今になって思います。ぜひ図書館を利用して、いろいろなジャンルの本を読んでみてください。

インターンシップの二人の実習の様子は、マツショ通信第12号(図書館ホームページ)にも載っています。気になる人はこちらも見てくださいね！また、「としよかんだより9月号」にも、実習生さんそれぞれのおすすめ絵本が掲載されています。POPも作ってもらったので、次のページへGO！→